

マレーシアトップセールス概要報告

はじめに

本県では、国内市場が飽和・縮小傾向にあるなか、近年の経済発展により有望な海外市場であるマレーシアをターゲットの一つととらえ、県産品の販路開拓を行うこととしている。今回は、これまでのトップセールス等により築いてきた人脈や現地との信頼関係を礎に、伊勢丹マレーシアにおいて、柑橘や水産物に加工食品やタオル等のすごモノを加えた総合的な「愛媛フェア」が開催されることとなり、知事をはじめ、農林水産団体関係者等も参加し、大々的なトップセールスを行った。

県議会としても、県内企業の海外展開推進の積極的姿勢を内外に示していくことが重要であることから、議長及び議員が同行し、各行事に参加したのでその概要を報告する。

1. マハティール元首相との売場視察

【日 時】平成 28 年 2 月 26 日（金）10：20～10：55

【場 所】伊勢丹マレーシア地下食品売場、2階イベントスペース

【概 要】マレーシアにおいて国民的な人気を集めるマハティール元首相閣下と御夫人を招き、知事、議長とともにオープニングイベント前に売場を視察していただき、県産品の試食等を通じて品質の高さを確認していただいた。



マハティール元首相を出迎え



食品売場視察



今治タオル視察挨拶

2. 伊勢丹マレーシア「愛媛フェア」オープニングイベント

【日 時】平成 28 年 2 月 26 日（金）11：00～11：30

【場 所】伊勢丹マレーシア 地下食品売場イベントスペース

【出席者】知事、議長、県議、県農協中央会会長、愛媛 FAZ 社長、

マハティール元首相夫妻、伊勢丹マレーシア湯谷社長、DOKA 鈴木社長 他

【概 要】伊勢丹マレーシア地下において、愛媛フェアのオープニングイベントが行われた。来賓にマレーシアで国民的人気のあるマハティール元首相が御夫人とともに出席したことから、地元メディアも多数集まり、大変な盛り上がりであった。

知事は、フェアを通じマレーシアの方々に愛媛の魅力を知ってもらいたいと挨拶し、マハティール氏は、昨年訪れた愛媛県の印象を「魅力的な県」と語り、今治タオルの質の良さやみかんの美味しさを来場者に丁寧に説明していただいた。

マハティール氏と御夫人は、今治タオルの大ファンであるとのことで、議長が、記念品として持参した今治タオルで作られたペアのタオルケットを手渡すと、大変喜んでいただいた。



知事挨拶



マハティール元首相挨拶



テープカット



議長から記念品贈呈



記念撮影

3. 伊勢丹マレーシア等との意見交換会

【日 時】平成 28 年 2 月 26 日 (金) 12 : 00 ~ 14 : 00

【場 所】ペトロナスツインタワー 42 階 MALAYSIAN PETROLIAM CLUB

【出席者】知事、議長、県議団、県農協中央会会長、愛媛 FAZ 社長、

日本国大使館中村参事官、伊勢丹マレーシア湯谷社長、DOKA 鈴木社長 他

【概 要】伊勢丹マレーシアの湯谷社長から、マレーシアにおける経済情勢やマーケットの状況についてブリーフィングを受けた後、昼食をとりながら意見交換を行った。

＜マレーシアにおける小売市場等の概要＞

- マレーシアは人口 3000 万人。多民族の複合国家で、マレー系でイスラム教を信仰する民族が 62%、中国系が 23%、インド人 7%。このため、多くの宗教が互いを認め合って生活している。
- 人口構造はほぼピラミッド型になっており、65 歳以上が 4.5%とまだまだ若い国家であるといえる。
- 百貨店の出店の目安として、一人当たりの GDP が 8,000 ~ 10,000 ドル必要としているが、2011 年の段階で 1 万ドルを超え、クアラルンプールでは一人当たり 2 万ドルを超えており、経済が集中している。中国系の方が高い経済能力を持っている。
- マレーシアは、過去、マハティール元首相のルックイースト政策により日本の高度成長を目指した政策をとってきたこともあり、非常に親日的である。
- マレーシアの小売業としては、百貨店、総合スーパー、ハイパーマーケット、専門店、ドラッグストアが主流で、店舗出店が相次ぎ、供給過剰気味。また、コンビニは小規模小売店を保護する政策があり、進出しにくい状況であるが、TPP の大筋合意を契機に、各大手コンビニが進出の機をうかがっている。
- マレーシアは、人口の 60% がイスラム教徒であり、ハラール規制がある。マレーシアには世界で 2 番目に厳しい規格を持つ認証機関があり、マレーシアでハラールとして販売する場合にはその認証を得る必要がある。
- マレーシアの伊勢丹においては、顧客層の特徴として食への関心の高い客が多いということ。比較的裕福な中華系マレーシア人第 3 世代とそのジュニアをターゲットとしている。



湯谷社長によるブリーフィング



鈴木社長、湯谷社長へ記念品贈呈



議長の閉会挨拶

4. マレーシアバドミントン協会表敬訪問

【日 時】平成 28 年 2 月 26 日（金）15：00～16：00

【場 所】マレーシアバドミントン協会事務局

【出席者】知事、議長、県文化スポーツ振興課長

【面会者】チン・チャイ幹事長、デビット・ウィー副会長、ローレンス・チューGMほか

【概 要】2020 年東京オリンピック・パラリンピックでの事前合宿実施を見据えて相互交流を働きかけるため、同国バドミントン協会（BAM）に対して知事がトップセールスを行った。

知事は、これまでのマレーシアとのバドミントンを通じたつながりや、愛媛の優れた合宿環境などをアピールし、代表選手の合宿の誘致を見据え、更なる交流を行っていききたいと話した。

BAMからは、ジュニア世代の相互交流に対する積極的な提案があるなど、本県の意向に対して概ねの理解が得られ、ジュニア世代から相互交流を実施することで合意し、実施に向けて引き続き協議を重ねていくことを確認した。



チン・チャイ幹事長との会談



記念品交換



施設見学

5. マレーシア在住経済人等との交流会

【日 時】平成 28 年 2 月 26 日（金）18：30～20：30

【場 所】インターコンチネンタルホテル 2階ボールルーム3

【参加者】県関係者約 80 名、県人会・日本人商工会議所（JACTIM）関係者等 20 名

【概 要】愛媛県から渡航した県関係者、出展企業、大学生等と、マレーシア愛媛県人会の会員や JACTIM 会員、大使館員等が集まり、交流会が盛大に開催された。

開会に際し、来賓として出席した日本国大使館児玉公使は、マレーシアについて、良いものを高い値段を出して買う購買層が増えてきている非常に有望な市場と評価し、プロモーションを行う際には大使館も積極的にバックアップを行っていくことを約束していただいた。

議長は、継続的な愛媛フェアの開催により、愛媛県とマレーシアの交流がますます進展することに期待すると挨拶し、乾杯を行った。



知事あいさつ



三好会長あいさつ



議長乾杯

終わりに

今回、マレーシアにおけるトップセールスに参加し、首都クアラルンプールの経済成長の著しさが実感できた。

今回のような愛媛フェアが今後も継続的に行われ、本県の素晴らしい産品がマレーシアの市場に受け入れられ、流通が拡大するとともに、愛媛県とマレーシアの間で様々な分野での交流が深まることを大いに期待するところである。

最後に、愛媛フェアに駆けつけていただいたマハティール閣下をはじめ、様々な形でお力添えをいただいたDOKA社鈴木社長及び伊勢丹マレーシアの湯谷社長、トップセールス参加に当たって終始お世話いただいた愛媛県の関係者の皆様に感謝したい。